



～もう一人の自分たち～

校長 熊本 寿美

ふるさと宇美を愛し、志をもって、たくましく未来を生きる生徒の育成

(文責：教頭 土器 修)

学校関係者評価についてのご報告 ～第2回学校運営協議会の実施～

10月27日(水)に、原田小学校・宇美南中学校区第2回学校運営協議会を実施しました。第2回学校運営協議会では、委員の皆さまに学校評価(一次評価)の結果とこれに基づく改善に向けた取組を説明し、ご意見をいただいています。本号では、ここでいただいた学校関係者評価委員の皆さまからの数値評価とご意見の一部をお知らせいたします。

<数値評価の結果>

※4段階による数値評価の平均値です。

評価項目	第1回	第2回	評価項目	第1回	第2回
方策1「磨き合う集団づくり」	3.78	3.40	方策5「教育環境の充実」	3.67	3.30
方策2「学び合う集団づくり」	3.67	3.10	指導の基盤「積極的な生徒指導の推進」	3.67	3.40
方策3「組織の機能化」	3.33	3.20	教育活動の全体像	3.33	3.40
方策4「教職員の研修の充実」	3.44	3.40			

<ご意見>

<方策1「磨き合う集団づくり」について>

- ・ あいさつ、掃除等当たり前のことを行うことが一番難しいのですが、南中の生徒は明るくあいさつをしてくれます。
- ・ 行事等ではリーダーを中心に活動しています。その後の生活でもリーダー性が発揮できるよう指導をお願いします。

<方策2「学び合う集団づくり」について>

- ・ どこでつまずきがあるかを、レベル差を細かく設定した問題で見とったりすると支援に活用しやすいと考えます。
- ・ 中学校での対話的な学びにつなげるために、小学校では基礎学力の定着に努めたい。

<方策3「組織の機能化」について>

- ・ 目標の共有化を学校、家庭、地域の三者が行っていくことが大切だと思っています。
- ・ 問題行動等で担任以外が関わって解決することもあります。チーム南中で生徒を指導していただき感謝しています。

<方策4「教職員の研修の充実」について>

- ・ ICT活用の技能は、教師間、教科間の差を埋めるべく、教員相互の研修を通じた授業改善をお願いします。
- ・ 成果が見られることについて何が効果的だったかを分析し、有効策を共有することも大切だと考えます。

<方策5「教育環境の充実」について>

- ・ 人・もの・こととの教育環境を充実することに対する先生方の努力が十分伝わります。
- ・ 先生方の心にゆとりがもてるような働き方改革を充実させてほしいです。

<指導の基盤「積極的な生徒指導の推進」について>

- ・ 「鍛えて!ほめて!励まして!」が意識されています。頑張っている時にはほめて、他の生徒にも広めてほしいです。
- ・ 小中連携あいさつ運動では中学生が率先してあいさつしており、小学生の手本となっています。

<教育活動の全体像について>

- ・ 日々の教育活動に妥協なく全力で取り組まれていることが伝わります。
- ・ コロナ禍にもかかわらず、学校公開の場を工夫して設けていただいていることに感謝しています。



宇美町教育委員会等からのご指導について ～宇美町教育委員会学校訪問の実施～

11月24日(水)に、宇美町教育委員会学校訪問が実施されました。佐々木壮一朗教育長をはじめ、教育委員の皆さま、原田小学校安部章校長、学校教育課、社会教育課、こどもみらい課の皆さま、計16名の方にご来校いただきました。学校側から学校経営の進捗について報告し、取組等について評価をいただきました。皆さまからは、チーム南中で1人1人の子どもを大切にする教育活動が実践されており、成果が期待できる学校であるという称賛をいただきました。以下に本校の教育課題である「学力の向上」と「学校生活満足度の向上」について、ご意見の一部をお知らせします。今後も改善に努め、チーム南中の協働性を発揮し、「鍛えて・ほめて・励まして」の教育活動を推進してまいります。



学校訪問(授業参観)の様子

<学力の向上>

- ・ 子どもの成果物が掲示されているだけでなく、先生の賞賛、評価も添えられている。生徒の意欲喚起につながっている。
- ・ ICTを活用することで、多くの子どもが教科の授業を楽しみながら学ぶことができている。
- ・ 分析を生かして視写に焦点化して取り組むことは価値がある。掲示されている子どもの成果物にも成果はあらわれている。
- ・ 「家庭学習の手引」を生徒が熟読して学びにつなげていけるようにしてほしい。

<学校生活満足度の向上>

- ・ 体験活動後に生徒の意欲は高まり、学力が高まる。地域と連携した体験活動等を仕組むことを継続してほしい。
- ・ 主体的に学ぶには、挑戦意欲や人間関係スキルが必要である。今後の小中連携で学級経営や教育相談に取り組んでほしい。

地域連携の協働活動の推進 ～CSフォーラム、PTA美化作業の実施～

11月13日(土)のCSフォーラムにおいて、本校では、原田小学校6年生の児童と一緒に地域防災について考える活動を実施しました。内容は、「避難所でのボランティア活動について」をテーマにした講演と避難所設営体験です。講演では、社会福祉協議会から講師をお招きし、避難所でのボランティア活動の実際について学びました。続くグループ討議では、子どもたちが豊かな発想力を発揮し、避難所でできるボランティア活動案をつくりあげていました。また、避難所設営体験では宇美町危機管理課の皆さんのご指導のもと、避難所用パーティション、段ボールベッドの組み立てに挑戦しました。難しい作業でしたが、同じ部友の小学生に声をかけ、協力して活動しました。

また、この日は、校区コミュニティ運営協議会事務局のご支援で、各自治会の会長、防災委員の皆さまにもご参観いただきました。設営体験では、子どもたちと作業し、ご指導いただく場面もあり、子どもたちにとって有意義な時間となりました。ふり返りの「災害時には、地域の一人として役立ちたい。」「日頃からコミュニケーションを大切にしたい。」等の声からも、地域の一人としての自覚や地域に貢献する気持ちが高まっていることがわかりました。

11月27日(土)には、PTA美化作業を実施しました。この日は、PTA役員と美化厚生委員、サポートスタッフの皆さま18名、生徒ボランティアの皆さん75名に協力いただきました。加えて校区コミュニティ環境整備部の皆さま19名にも花植え用の土づくりや花壇の土おこしにご協力いただきました。心より感謝申し上げます。おかげで効率的に作業を進めることができました。環境整備部の皆さまからは、「ボランティアで学校をきれいにすることに参加しているのに感心しました。」「日頃接する機会が少ない子どもたちに土づくりを教える機会ができて嬉しかった。」等の感想をいただきました。

これらの活動が地域の方との触れあいの場、地域人材活用の場になったことが成果です。コロナ禍ですが、今後も地域連携の協働活動の機会を工夫して設け、地域と共にある学校づくり、ふるさとを愛し社会に貢献できる認め合う生徒の育成に努めてまいります。



避難所設営体験の様子



グループ討議の様子



土づくりの様子

1学年夢実現プログラム「夢をさがす」の取組 ～1学年夢実現講演会の実施～

11月25日(木)に社員教育接遇マナー研究所の代表 俵純子様を1学年夢実現講演会の講師にお招きし、「みんな自分の人生の主人公」を演題にご講話いただきました。俵様からは、言葉、特に「ありがとう」の大切さ、あいさつやマナーの意味、ウェル・ビーイング(よい生き方)の考え方等の話を通して、「自分は世界でただ1人の自分を育てる責任者」「変えられるのは自分と未来だけ」という力強く温かいメッセージを伝えていただきました。1年生もそれを受け、主体性を発揮し、挙手して発表したり、元気に4つの日常行動を唱和したりしました。

講演会後の1年生からは、「自分には無理だとあきらめていた夢にもう一度挑戦します。」「何にでもチャレンジしたい。自分から挙手できる人になりたい。」などの思いが語られており、新たな夢や目標に向かって努力しようとする決意がみなぎっていました。1年生が、この日の決意のもと自分を鍛え、自分を大切にすることを実践し、仲間と共に学校生活を充実させてくれることを確信しています。



夢実現講演会の様子

第25代生徒会役員を選出 ～立会演説会・生徒会役員改選の実施～

11月18日(木)に生徒会役員立候補者による立会演説会と全生徒会員による投票で第25代生徒会役員が下表のとおり選出されました。立候補者は11月8日(月)から公約を掲げて昇降口や各学級で選挙運動を行い、この日を迎えました。当日は、選挙管理委員会の指導のもと全学年の生徒が静かに入場して厳粛な雰囲気をつくり、候補者を支えることができました。立会演説会では、堂々と公約を主張する候補者の姿に、全校生徒が頼もしさ、意志の強さを実感することができました。また、選挙運動期間中、朝早くから候補者とともに行動し、ひたむきに支えてくれた2学年の運動員には心から敬意を表するとともに、この後も候補者への力強いフォローを期待します。



立会演説会の様子

会長	副会長(書記)	副会長(書記)	学習委員長	環境委員長	健康委員長	文化委員長	図書委員長
伊藤 寛菜	木庭 広翔	古屋 颯	木藤 聖也	古澤 翔吾	高田 夏鈴	坂東 七彩	松永 莉希

本校生徒の努力を称えて ～糟屋区中学校文化連盟総合発表会、各種コンクールの開催～

11月21日(日)に、糟屋区中学校文化連盟総合発表会がクリエイト篠栗にて開催されました。本校からも多数の生徒が出場し、成果を発表したり、表彰を受けたりしました。南中生の挑戦と努力の成果を称えます。ここでは本発表会に出場した生徒及び各種コンクール等で表彰された生徒を紹介いたします。

<糟屋区中学校文化連盟>

国語弁論大会	1年1組	大脇らんるさん	「未来を担う子供たちが変わるために」
英語スピーチ大会	2年1組	田久保エデンさん	「Courage to Change Myself」
理科科学研究作品【入賞】	2年2組	入江真央さん	「水で水を沸騰させる?」
美術部作品展【優秀賞】	2年1組	清水恋華さん	
	【佳作】	3年2組	白谷美奈さん
吹奏楽部アンサンブル発表	吹奏楽部	1年3組	成田芽生さん

<宇美町図書館を使った調べる学習コンクール>

中学生の部【優良賞】	1年1組	金井美諭さん	「野菜の色素」	2年2組	高原奈那さん	「THE 花の色素」
【奨励賞】	2年2組	中嶋ひよりさん	「ヒマワリの種の数は決まっている!？」			

<宇美町少年・少女の主張大会>

【優秀賞】	2年2組	山下千尋さん	「母のタバコ」
-------	------	--------	---------

<「青少年の声」標語>

【優秀賞】	3年2組	小材海晴さん	「あいさつと 笑顔でつなぐ 心の輪」
【佳作】	2年1組	井上光織さん	「あいさつは あなたと僕を つなぐ糸」
【佳作】	1年1組	金井美諭さん	「咲かせよう 愛さつた花 sunflower」

